

2009年度 京都大学 前期 日本史

I

A

- (1) 赤松 (2) 結城合戦 (3) 播磨国 (4) 細川勝元 (5) 天皇
(6) 将軍権力の強化をねらった専制的な政治（万人恐怖の専制政治） (7) 源実朝

B

- (8) 強訴 (9) 逃散 (10) 苗字 (11) 打ちこわし (12) 田沼意次
(13) 高札

C

- (14) 独逸（ドイツ） (15) 伊太利（イタリア） (16) 大東亜 (17) アメリカ
(18) 北部仏印 (19) 日ソ中立条約 (20) 絶対国防圏

II

- | | | | | |
|---------|--------|-----------|------------------|---------|
| ア 対屋 | イ 大和絵 | ウ 東関紀行 | エ 阿仏尼 | オ 倭寇 |
| カ 琉球 | キ 花鳥余情 | ク 大乘院日記目録 | ケ 貞享暦 | コ 天文方 |
| サ 北越雪譜 | シ 山東京伝 | ス 大学令 | セ 京城 | ソ 新婦人協会 |
| タ 治安警察法 | チ 中里介山 | ツ プロレタリア | テ 電電公社（日本電信電話公社） | |
| ト 消費 | | | | |

III

A

- | | | | | |
|--------|------|----------|------|-------|
| ア 竪穴住居 | イ 銅鐸 | ウ （高床）倉庫 | エ 埴輪 | オ 掘立柱 |
|--------|------|----------|------|-------|
- (1) (あ) 隅田八幡神社人物画像鏡 (い) 稻荷山古墳出土鉄剣
(2) 出雲大社 (3) 法隆寺金堂（五重塔） (4) 蘇我馬子

B

- | | | | | |
|------|----------|------|------|-------|
| カ 惣領 | キ 平民（凡下） | ク 下人 | ケ 寄合 | コ 小百姓 |
|------|----------|------|------|-------|
- (5) 門田 (6) 分割相続 (7) 弓馬の道（兵の道・武家の習い）
(8) 宮座 (9) 百姓申状

C

- | | | | | |
|----------|--------|---------|------|--|
| サ 国会期成同盟 | シ 伊藤博文 | ス シュタイン | セ 予算 | |
| ソ 立憲政友会 | タ 元老 | | | |
- (10) 参議 (11) 開拓使官有物払下げ事件 (12) 美濃部達吉 (13) 憲政会

2009年度 京都大学 前期 日本史

Ⅳ

(1)

8世紀、国司は四等官で構成され、中央より貴族・官人が派遣されて赴任するのが原則であった。中央政府の監督の下で行政を担当し、地方豪族より任命された郡司に文書作成や租税徴収などの実務を担わせた。しかし、9世紀末以降、国司は中央政府から国内統治を委ねられ、中でも最上級者である受領に権限が集中したため、郡司の地方支配における役割が低下した。11世紀後半、受領は現地に常駐しなくなり、国司制度の形骸化が進んだ。(200字)

(2)

幕府は蘭学に対して受容と弾圧という二面的な政策をとった。享保期、漢訳洋書輸入制限緩和などの実学奨励策をとり、医学を端緒とする蘭学の発展を促した。この後も幕府は天文・測地など実学的側面を受容し、蛮書和解御用を新設して洋書翻訳にあたらせた。一方、禁教・鎖国政策を堅持する立場からシーボルト事件や蛮社の獄などの弾圧を行った。この結果、蘭学は政治批判から離れ、医学・天文学・兵学など、より実学的性格を強めた。(200字)